

## 6)-3 JHF レスキューパラシュートリパック認定証規程 改定案

制定 2008 年8月 1日 理事会

改定 2013 年3月12日 理事会

### 6)-3-1 レスキューパラシュートリパック認定証の効力

- 1) レスキューパラシュートリパック認定証を有する者は、レスキューパラシュートのパッキング、ハーネスへの装着、取り出しについての専門的な知識、技術を有するものと認め、JHF公認リパックタグの使用を認める。
- 2) 認定証の有効期限は発効日から3年とする。
- 3) 認定証の更新には以下の要件を必要とする。
  - ア) 過去3年間で30回以上のレスキューパラシュートのパッキング、ハーネスへの装着、取り出し確認の経験を有すること。(リパックログブックの写しを提出)
  - イ) 過去3年以内にJHF公認のリパック講習会を受けること。(受講証明の写しを提出)
  - ウ) 上記更新講習会において異なる3メーカーのリパック実技を行うこと

### 6)-3-2 レスキューパラシュートリパック認定証の申請資格

レスキューパラシュートリパック認定証申請には以下の項目を要件とする。

- 1) パイロット技能証を有すること。
- 2) 有効なフライヤー会員登録証を有すること。
- 3) レスキューパラシュートリパックの必要な知識と技術について教育を受け、レスキューパラシュートリパック認定証課程を修了すること。
- 4) レスキューパラシュートリパック認定証実技検定試験に合格すること。
- 5) レスキューパラシュートリパック認定証学科検定試験に合格すること。
- 6) レスキューパラシュートリパックを行うのに支障となるような心身の欠陥がないこと。
- 7) 国外で同等の認定証を取得したものは1)から5)の項目に該当しなくても理事会の承認が有れば申請出来る。

### 6)-3-3 レスキューパラシュートリパック認定証課程と検定試験科目

1. 目標：レスキューパラシュートリパック技能の習得  
レスキューパラシュートの取扱説明書に従い、パッキングおよびハーネスへの装着、取り出し確認を正確に行える技術を習得する。  
生産物賠償責任保険の知識を習得する
2. 対象者：パイロット技能証を有する者
3. 練習：各種レスキューパラシュートのパッキング、各種ハーネスへのレスキューパラシュートの装着、レスキューパラシュートの取り出し確認を過去1年間に20回以上行っていること(リパックログブックで確認)

実技検定は異なる3メーカーのリパック実技を行い採点する。

4. 科目数:実技科目 9科目

学科科目 14科目

5. 実技科目表:

- 1 開傘シミュレーションの実施(実際の状況を想定した開傘操作のチェック  
開傘後行動手順の教育。)
- 2 インスペクション(縫い糸、4ライン、生地強度、傷、汚れ、そのほかの外観)
- 3 パッキングⅠ(均等なラインテンションとアペックスの調整確認、メーカー仕様のたたみ方)
- 4 パッキングⅡ(インナーコンテナへの適正な収納)
- 5 ハーネスへの装着Ⅰ(ブライダルの適正な接続とルーティング)
- 6 ハーネスへの装着Ⅱ(パラシュートコンテナへの適正な収納とハンドルの固定)
- 7 パラシュートコンテナからの取り出し確認(ハンドルへのアクセスとパラシュートの取り出しやすさ)
- 8 JHF公認タグとパラシュートログ、リパックログブックの記入と取り付け、保管
- 9 総合科目  
各種レスキューパラシュートのパッキング、ハーネスへのレスキューパラシュートの装着、レスキューパラシュートの取り出し確認

習得判断基準 : 正確な作業が確実にできること

6. 学科科目表:

レスキューパラシュートの構造

- 1 各部の名称
- 2 開傘のメカニズム
- 3 モデルごとの特性

リパックの注意点

- 4 作業場の設定と作業補助具の使用

ハーネス装着の注意点

- 5 ハングライダー用ハーネスとパラグライダー用ハーネスの構造
- 6 ハーネスの各モデルごとの違い
- 7 パラシュートコンテナサイズへの対応
- 8 ハンドルの固定(アクセスの確認と誤開傘の防止。)
- 9 パラシュートの取り出しやすさ

## リパックの記録

### 10 JHF公認タグとパラシュートログ、リパックログブックの記載内容

#### 開傘後の行動手順の知識

- 11 安定沈下のための基本操作
- 12 ダウンプレーニング、ローテーションなど
- 13 着地への備え

#### リパックの法的責任

- 13 法律の知識
- 14 保険制度

### 6)-3-4 レスキューパラシュートリパック認定証検定試験

#### 1 実技検定試験科目

3種類のレスキューパラシュートを使用し、パッキング、ハーネスへの装着、取り出し確認をそれぞれ1回行い、成功した場合習得したものとみなす

合格基準 確実に試験科目を実演すること

#### 2 学科検定試験科目

- ・JHF出題の学科検定試験問題に合格すること  
合格判定基準 正解率70%以上
- ・試験の実施は教員が行い、点数の不足する者に対しては再教育を行うこと

### 6)-3-5 レスキューパラシュートリパック認定証学科検定試験規則

- 1) レスキューパラシュートリパック認定証学科検定試験は、JHFの学科試験問題を使用し、レスキューパラシュートリパック認定証を有するJHF教員が随時行う。
- 2) レスキューパラシュートリパック認定証を有するJHF教員は学科検定試験終了後、採点を行い、合否を判定し、実技検定試験に併せて合格した者の認定証の申請を速やかに行わなければならない。正解率70%以上を合格とする。

### 6)-3-6 レスキューパラシュートリパック認定証実技検定試験規則

- 1) レスキューパラシュートリパック認定証実技検定試験は、レスキューパラシュートリパック認定証を有するJHF教員が随時行う。
- 2) レスキューパラシュートリパック認定証を有するJHF教員は実技検定試験終了後、採点を行い、合否を判定し、学科検定試験に併せて合格した者の認定証の申請を速やかに行わなければならない。